

ダチヨウと電車

中澤陽

電車のホームに朝顔のつるが伸びる
路線図のカバーが黄色く劣化している
2両編成がゆっくり鉄の板を摩擦させる
誰も電車を降らない
誰も電車に乗らない
若い車掌が時刻を確認しボタンを押す
駅の瓦の破片が落ちてくる
そう近くない近くにある動物園の広告
広告の中のダチヨウだけが生きた目をしている
固い餌を檻に投げられても遠くを見ている目をしている
靴のソールがまくしたてる砂煙の中でも小麦の風を待つ目をしている